

2013年2月19日

テガラ、小型ボードコンピュータ「PandaBoard ES」に、 Android 搭載 SD カードなどをセットにしたキットモデル発売

組み込み開発用や実験用の小型シングルボードコンピュータの「PandaBoard ES」へ、Android 4.2.1 搭載の起動用 SD カードと AC アダプタをセットにした商品を2月19日より発売した。ボード上のスロットに SD カードを挿し込むだけですぐに Android を動作させることができる。価格は¥29,800-（税別）。同社の海外製品調達サービス「ユニポス」にて販売する。

海外製品の調達販売を手がけるテガラ株式会社は、Circuitco Electronics 社(pandaboard.org/) が製造している小型シングルボードコンピュータ「PandaBoard ES」に、Android 4.2.1 が起動できる SDHC メモリーカードと AC アダプタ(5V 4A)をセットにしたキットを2013年2月19日より販売開始した。製品名は「PandaBoard ES Android プリインストールキット（型番：UP-PEA01）」で、価格は¥29,800-（税別）。在庫を持っているため、ご注文後当日～翌日にはキットを出荷できる。（数に限りあり）注文はテガラの海外製品調達サービス「ユニポス」で受け付けている。

PandaBoard ES では SD カードに OS イメージを書き込むことで Android や Linux(Ubuntu)を動作させることができるが、このキットでは最初から Android の最新安定版である 4.2.1 が起動できる SD カードを用意していることが最大の特長だ。また、AC アダプタも PandaBoard の推奨する出力に準拠する 5V 4.0A のものを用意している。

「PandaBoard ES」は、同じ Circuitco Electronics 社の「BeagleBoard」に端を発する小型シングルボードコンピュータブームの代表的製品の一つで、ほかには同社の「BeagleBone」、Mini-ITX 規格などで有名な VIA 社の Android 小型ボード「APC 8750」「APC Rock」、Leopard Imaging 社によるカメラ開発用ボード「LeopardBoard」、ラズベリーパイ財団がイギリスで開発した Linux 対応小型ボード「Raspberry Pi」などがある。

テガラは 1990 年代初頭より、20 年以上にわたりカスタムメイドパソコン（コンピュータ）の設計製造を手がけており、主に地元浜松や山形の大企業や研究機関への販売を行っていた。現在は販路を全国に拡げ、産業用 PC や研究開発用 PC に特化した製品づくりを行っている。また、2003 年より海外製品の調達販売を開始し、10 年を経た現在では全国の大学や研究機関、大企業などを主要顧客としている。創業時より現在まで「研究開発を加速する」というモットーのもと、国内外のユニークな製品を主要顧客である研究者・開発者へいち早く提供することを企業方針としている。今回発売した PandaBoard ES Android プリインストールキットは、カスタムメイドパソコンの設計製造やサポートで培ったノウハウと、海外製品調達で培った輸入販売のノウハウの融合を図った製品だ。

■本製品およびテガラ株式会社に関するお問い合わせ先

テガラ株式会社 ユニポス事業部

〒430-0812 静岡県浜松市南区本郷町 1308-14

sales@unipos.net TEL:053-468-2655

海外製品調達サービス「ユニポス」 WEB サイト <http://www.unipos.net/>

【製品写真】

